

R3.1.18～25 第3回人吉市復興計画策定委員会における意見（書面審議）

【資料2】

		意 見	意見反映
復興計画素案に対するご意見	1	基本施策の一つ一つが確実に実行されるよう願っています。それぞれの関係の人には具体的に丁寧な説明をして欲しいです	広報誌や市ホームページでの情報提供のほか、必要に応じて説明会等の機会を捉えて説明を行い施策の着実な実行に繋げていきます。
	2	私が早急に取り組むべきと考えていた「戸別受信機の設置」と「逃げ遅れゼロの避難計画」が盛り込まれているので、現時点では必要かつ十分な計画案であると評価しています。	本計画に基づき着実に取り組みを進めてまいります。
	3	全体的に分かりやすくまとめていると思います。主な被害の状況が見直し中ではあるが、写真等が入り見やすくなった。概要版の2ページ、未来につながるまちづくりは第5章の内容と思うので、第4章と第5章とわかるように記載した方がわかりやすいのではないかと思います。	ご意見を踏まえ「概要版」に反映
	4	第2回会議(骨子案)のP31にあった(1)災害に強い都市基盤づくりの主な取組、施策「③環境対策」はどこにいったのかとふと思いました。地球温暖化やりサイクルといった話が出ていたと思いましたが、素案でどこにあるのかわかりませんでした。もしどこかに含まれていて見落としたりしたらすみません。	第4章2(4)・第5章へ記載（環境に配慮した施策としてゼロカーボンの取組につながる施策を推進します）
	5	解体が続く中心市街地をどうするか？ビジネスホテル、外食産業、温泉センターなど地域外から人を呼び込む施設を誘致する。行政は解体で空き地となった土地をまとめ進出しやすい環境を作る	第4章1(4)・2(1)(2)・第5章へ記載（復興まちづくり計画において地域ごとの再生方針を住民と一緒に検討するとともに、市街地の賑わい再生に向けた取組を関係機関とともに進めます）
	6	早急に取り組むべき施策で、流木や堆積土砂の撤去とありますが橋桁の下部や欄干などに引っかかっている流木等が目立ちますので大きくは含まれていると感じますが、「河川敷及び橋梁の流木や堆積土砂の撤去」と記しているのかと（細かいことですが）。また、浸水した家屋の不在物件（所有者不明）の対応も必要かと思います。	流木等の撤去が必要な箇所はご指摘の通り様々なケースが考えられ、包含した表現として記載しております。また、被災した空き家の所有者特定を迅速に進めます（第4章1(2)へ記載）
	7	内容について特にありません	本計画に基づき着実に取組を進めます
	8	内容は拝見させていただきました。特に異論はありません。計画策定に当たり人吉市職員様をはじめとする方々に敬意を表します。大変お疲れ様でした。今後、希望ある、感動する「復興」に向け邁進しましょう。	本計画に基づき着実に取組を進めます
	9	よく考えてあり問題ないと思いますが、近隣地域(球磨村、相良村など)との連携しての復興はまた別の話なのでしょうか？	人吉球磨をはじめとする流域自治体との連携は、治水対策をはじめ復興に向けて一体的に取り組んでいくことが必要不可欠です。現在、様々な分野で連携協力を展開している人吉球磨定住自立圏の取組もさらに推進していきます。
	10	第4章全般について：「取組方針」について ①取組方針の文章の順番について、直接市民に届くサービスや復旧等、既に決まっているものは先に記述し、「検討」となっているものは後に記述されてはいかがでしょうか。 ②取組方針の内容と具体的な取組の内容（書きぶり）が一致していないと思われるところが散見されます。もう少し整理されてはいかがでしょうか。 ③取組方針の文章数と取組の数がアンバランスなところも見られます。	ご意見を踏まえ全般的に整理見直し
		○第5章 未来につながるまちづくり： ①将来ビジョンをもっと明確に示し、それに向かっていくストーリー展開の中で取組を位置づけし、方向性を示されて位はいかがでしょうか。 ②冒頭の節の2段目「ここに残りたい、ここに住み続けたい」は同じ意味では。外の人々が「人吉に住みたい」というのは必要ないでしょうか？	ご意見を踏まえ整理見直し
11		①P12文化財： 2行目に「古文書」も加えて欲しい	ご意見を踏まえ文面見直し 第2章2(3)【文化財】
		②P29文化財等の復旧： 1行目の「観光資源」を「日本遺産構成文化財」に替えたら如何？	ご意見を踏まえ文面見直し 第4章1(3)③
		③P28中川原公園検討について： 江戸時代「球磨絵図」にもある通り中川原は歴史遺産である。なくしたら？の意見も読んだことがあるがその存在については熟考していただきたい。	ご意見を踏まえ今後検討を進めます
		④P35～36大被害を受けた人吉城歴史館は博物館ではなく、相良700年のガイダンス施設である。市民や観光客の過去へのタイムスリップの意義を持つ存在感（核の）として、早期の再生を望みたくこの項の中に入れて頂きたい。	被災した文化財や文化施設が多くあることから個々の記載はできておりません。
		⑤P44上下新町道路上に立つ電柱が交通の妨げとなっている。避難時のために改善できないだろうか	地区ごとのまちの再生に向けた復興まちづくり計画を策定するなかで、地域の課題を洗いだし検討を行います

R3.1.18～25 第3回人吉市復興計画策定委員会における意見（書面審議）

【資料2】

		意 見	意見反映
復興計画素案に対するご意見	11	⑥P34 県、国と連携できるのは球磨焼酎だけか？具体的な産物を上げるとしたら・・・	ご意見を踏まえ文面見直し
		⑦P29 地域の神社、お堂などの復活は地域おこしまつりにもつながる	ご意見のとおりです。地域コミュニティという文言に包含し記載しております。第4章1(4)①へスライド
	12	OP17(3)災害ボランティアセンターに関して： 災害ボランティアセンターの拠点が令和2年12月から人吉市社会福祉協議会に移転して活動を継続している旨言及した方が良いのではないかと思います。また、途中から球磨村社会福祉協議会との合同状態も解消されていたと思うのでその点も言及した方が良いのではないかと思います。	詳細部分については記載省略しております。
		OP37(3)農業の再生・復興： 稚鮎の放流が記載されていますが、これは漁業に関することなので農業の中に記載するのは違和感があります。そのため、標題を漁業も追加するか、又は、漁業の項目を別にして記載するほうが良いのではないかと思います	ご意見を踏まえ記載箇所を変更 第4章2(2)①へスライド
	13	とてもよくまとめて頂いていて見やすく分かりやすく感じました。1点気になる文言と要望があります。①随所に「安心・安全」の言葉がでてきますが今は殆どの企業、自治体が「安全（だから）安心」の意で「安全・安心」を使用しています。こちらのほうがより良いと思います。 ②もしできればですが、それぞれの取組方針、具体的取組について「どこの部署が担当するのか」が分かるように明確にビジョンが見えてくると感じます。	①ご意見を踏まえ文面見直し ②部署が複数にまたがる、または今後の部署再編等も想定されることを踏まえ、担当部署名の記載はしておりません
		色使い、文字の大きさ、文字形などに見やすくなる工夫をととても感じました。青、水色は水のイメージが強く、水害対策の文書では不安をおおっていました。色のイメージもとても大切だと思います。簡潔な文言にも安心感を持ってました。たくさんの種類の網を少しずつ少しずつ繋げていくような復興計画の作業ですが、細かな目の網であればあるほど、多くの方を救える。残される人のない復興になると思います。大変ですがどうぞよろしくお願いいたします。	本計画に基づき着実に取り組みを進めてまいります。
	14	OP20に「球磨川と共に作る・・・」P21「人吉らしい復興を目指します。」 このキーワードは、これからの復興の取組み、事業をこのコンセプトに集約する必要があると思いますので、第4章の基本施策、第5章まちづくりの中で、このキーワードを意識した具体的な表現を望みます。	ご意見を踏まえ全般的に見直し
		OP24「(1)被災者に寄りそった生活支援」：この中では、在宅避難者等を含めた全被災者の実態把握と在宅避難者に対する支援体制の構築を最初に記載すべき。	在宅避難者、応急仮設住宅入居者いづれも定期的な実態把握と継続的な見守りが必要です。ご意見を踏まえ文面見直し 第4章1(1)①
		OP30(4)地域コミュニティの再生：被災状況の把握、住宅の再建状況の把握の如何では、自治会の再編も考慮すべき事態も想定されるため、持続可能なコミュニティとするため検討を行うことを明記したらどうか。これにより、拠点施設の在り方も変わってくると思います。	ご意見を踏まえ文面見直し 第4章1(4)取組方針・②
		OP35(2)観光の再生・復興：取組方針で、「観光地としての新たな魅力の創出に取り組みます。」とあり、この方法論かも知れませんが、球磨地方も含め地域全体の復興の方向性、コンセプトをまとめ、各事業、取り組みが、その方向性に沿って統一感のあるものとすべきと明確にした方が良いと思います。	ご意見を踏まえ文面見直し 第4章2(2)②
		OP37(3)農業の再生・復興：県南フードバレー構想との連携等は、言及しなくても良いか？	ご意見を踏まえ文面見直し 第4章2(3)②
		OP39(4)林業の再生・復興：林業が、主要な産業のひとつであるので、一般の住宅や商店等の再建においても、地元材の積極的な活用をと明記してはどうか。この取り組みで街並みの風景が変わることも期待されます。	まずは公共施設で地元材を活用することで、一般住宅等の活用につなげていきたいと考えております。
		OP43【早急に取り組むべき治水対策】：シカ等の食害による山の疲弊についても、言及しても良いのではないかと？山を健全な状態にすることが大事だと思います。	・第4章2(4)②に記載 ・ご意見を踏まえ文面見直し：第4章3【早急に取り組む治山対策】
		OP44(1)災害に強い都市基盤づくり：復興まちづくり計画の事項かも知れませんが、特に被害が甚大な地域においては、避難路となる道路の拡幅を今回行うべきと考えます。（→事業化を意識して・・・）頭出しとなる表現をお願いします。	第4章3(1)災害に強い社会基盤の整備①・(2)緊急避難場所・避難ルート確保②に記載
		OP52第5章：未来につながるまちづくり：①球磨川への愛着を育み、高める景観づくりとありますが、観光が主要な産業である人吉市は、小京都のイメージに沿う町全体の景観整備が必要です。このことも、しっかりと明示した方が良いと思います。	ご意見を踏まえ文面見直し 第5章1①
	15	・市民アンケートの結果が反映されている感じで良いと思いました。 ・緊急時の危機感をどう地域に伝達するか、警報サイレンの使用は良いと思いました。	本計画に基づき着実に取り組みを進めてまいります。

	意 見	意見反映
復興計画素案に対するご意見	この復興計画(素案)には、大きな疑問が有ります。将来に大きな禍根を残す可能性があるのに、子々孫々に責任がある私は認めかねます。7/4豪雨/洪水以降、人吉市民の想いを汲み取ることもなく、自己判断で、かなり早期から復興計画作成の代表者である松岡人吉市長は、川辺川ダム建設促進協議会のメンバーの1人として、しばしば国土交通省に川辺川ダム(穴あきダム/流水型ダム)の早期建設を要望されています(●行動A)。下記の■1)～5)の検討・検証なくして、①川辺川ダムの要望はできないし、②復興計画を策定することも、できないと考えます。つまり【●行動A】は、復興計画策定を、大きく妨げる行動要因です。 ■1)復興には、川辺川ダムが、あった方が良くどうかの検討。 ■2)人吉の治水には、川辺川ダムが必要かどうかの検討。 ■3)今回の豪雨/洪水の被害者20名の命は、仮に川辺川ダムがあれば、救われたかどうかの検証。 ■4)国土交通省の洪水/浸水6割軽減は正しいかどうかの検証。 ■5)熊本県が国土交通省に要望した穴あき川辺川ダム(流水型)は、本当に清流が保てるかどうかの検討 1)～5)の検討・検証もなく、川辺川ダムを容認するのは間違いでしょう。まして復興計画作成の代表者である松岡市長が【●行動A】をすることは、取り返しのつかない行為です。 川辺川ダムを建設するかどうかは、人吉市復興計画にも関わるととても大切な問題です。 しかも人吉市復興計画(第1期)(素案)には、ダムの1文字も記載されていません。このこと事態、【●行動A】が間違っていることを示唆しています。【●行動A】が、復興計画策定の妨げになっている証でしょう。【●行動A】は、人吉市民に対する裏切りでしょう。治水に関する人吉市の基本的な考え方は、ページ42の9行に過ぎません。それも抽象的な文言で、全く具体性に欠けています。人吉市の復興計画を策定は、人吉の治水、とりわけ川辺川ダムをどう考えるかで、かなり違ったものになるはずで。2020年11月19日熊本県知事が、川辺川ダム(流水型)を国に要望される前に、『まだ人吉市民の民意を把握しきれてないので』と拙速な要望に釘をさされるのが、復興計画策定責任者としての人吉市長の責務だと思います。そして洪水で心身ともに疲れた人吉市民が考える余裕が少しはできるであろう2021年2月～3月頃に、改めて川辺川ダム賛否を含めて、観光旅館・球磨焼酎組合・飲食店・小売業者・農林酪農業者・ラフティング業者等幅広く多くの意見を聞いて、且つ改めて人吉の未来についての住民アンケートをとって、改めて復興計画を策定すべきだと考えます。PS: 復旧については異論ありません。 意見書(2) 2021年1月20日に提出した意見書(1)の続きです。 委員としての私は意見書(1)記載の■1)～5)を私なりに検討・検証した結果をまとめました。 ■1)～5)を検討・検証しない限り復興計画を策定することはできないと判断しています。 ■1)～5)を検検討・検証した結果を『奇跡の二つの吊り橋』あなたは穴あき川辺川ダムが欲しいですか？人吉中央出版社2020年11月30日発行に記載しました。amazonや、人吉市のブックスミスミでも購入可能です。ご参照ください。柿本委員長はじめ、すべての委員の方も是非とも読んで欲しいと思います。	地域住民や学識経験者等で構成する復興計画策定委員会をはじめ、市民アンケート調査や住民座談会(コロナ禍のため町内会長に限定して実施)、有識者会議、パブリックコメント等を通じ、地域の一日も早い復旧・復興に向けて、本計画の速やかな策定及び長期的な取組を進めてまいりたいと思います。
	OP26 3つ目:「被災した高齢者等」⇒「被災した高齢者・障がい者等」障がい者との記載も入れてほしい。わかりやすいと思う OP44 ③情報基盤の強化:聴覚障害者、視覚障害者への伝達手段も入れて欲しい。防災ラジオ⇒聴覚障害者は×浸水が見えない⇒視覚障害者は× OP47 避難所の見直し・機能強化:「高齢者やペット同行」⇒「高齢者、障害者やペット同行」障害者がすべて福祉避難所へ行くわけではない。7月豪雨災害では3名しか利用していない。他の人達は?軽度や発達障害者も指定避難所へ行きます。その配慮も書き加えてほしい。 「要配慮者等の」⇒「(高齢者)障害者等の要配慮者支援を」具体的に書いてもらった方が分かりやすい OP47 ①伝達手段の多重化と…警報サイレンによる呼びかけ⇒聴覚障害者にはどう対応するのか? OP49 共助の仕組みづくり②避難行動要支援者:「避難行動要支援者」⇒「高齢者や障害者等の避難行動要支援者」具体的に入れてもらった方がわかりやすい ○第5章 未来につながるまちづくり: ・人吉市内の歩道、お店などバリアが多い状況。スーパシティ、コンパクトシティ、スマート公共交通等、もっとバリアフリー化を図ってほしい ・P54③ゼロカーボンシティの形成: 風力発電設置のために山を破壊する事例を耳にする。再生可能エネルギーの設置に環境破壊してはならない。自然を守って欲しい。 ・P55④故郷出身者を支える: 人吉・球磨は偉業をなした出身者を大事にしない風潮があるように感じる。人を誉めない土地柄では人が育たないし帰ってもこない。「今の若者に!」というだけでは改善されないと思う。地元出身者にはこんなすごい人たちがいる、地元でこんなすばらしい伝統を受け継いでいる人がいる、などを子どものうちから伝えていくべき!それを自慢したくなるような誇れる町の意識を培っていく教育が必要だと思う。	ご意見を踏まえ文面見直し 第4章1(2)① 聴覚障がい者の方には、文字表示型の防災ラジオの配布を行う予定です。各家庭への防災ラジオの配布や緊急時の避難情報は警報サイレン音を吹鳴させるなど、全ての住民に届く情報発信体制と避難支援体制の強化を図り、確実な避難につながる体制構築に取り組みます。 ご意見を踏まえ文面見直し 第4章3(2)避難所の見直し・機能強化 聴覚障がい者の方には、文字表示型の防災ラジオを配布することで屋内においても防災・避難情報等が確実に届く体制強化を図りたいと考えております。 避難行動要支援者は高齢者、障がい者、妊産婦、乳幼児、外国人などを含むことからP47に用語解説を入れてさせていただきます。 いただいたご意見を踏まえ今後取り組みを進めてまいります。

		意 見	意見反映
復興計画素案に対するご意見	18	第2回委員会の意見にあるように、全体的に感じますのは「本来計画は誰のためのものなのか？」ということです。市民一丸となって…が基本方針であるならば、主語は「私たち人吉市民は」となるはずですね。しかし、現段階で本計画はほとんどが「市が行うこと」として書かれているようです。市民一丸となって本計画のもとに復興していこう！というメッセージを伝えるものにするためには主語を「私たち人吉市民は」として、文章（特に語尾）を再考した方がよいと思います。誰かがしてくれるのではなく、私たちが皆でやっていく”自分ごと”です。落ち込んでいる人、あきらめかけている人も、この復興計画をみたら「もう少しがんばってみようか」「一緒にやってみよう」と思えるような復興の機運を高める源となるような計画で合って欲しいと思います。	復興計画の主体及び担い手は市民一人ひとりであるとともに、国や県、他市町村、大学、企業等と連携協力しながら一体的に一丸となって取り組まなければ復興は成し得ません。復興計画はその指針となるものであり、ご意見を踏まえながら、市全体の復興への機運を醸成する計画となるよう、様々なご意見をいただきながら策定を進めてまいります。
		OP25「子育てのコミュニケーション拠点である九ちゃんクラブについては早急に代替場所の確保を行い再開に向けて取り組みます」⇒「九ちゃんクラブにちは早急に代替場所の確保を行い、子育てのコミュニケーション拠点の拡充を行います。」（理由）市が行う子育て拠点のみにとどまらず市内全域で民間の力も借りながら子育てしやすいまちを作っていく必要があるからです	ご意見を踏まえ文面見直し 第4章1(1)①
		○語尾や文中の表現 【被災者のくらし再建とコミュニティの再生】 ・P24「総合的に支援します」⇒「総合的な支援を行います」「きめ細やかに支援します」⇒「きめ細やかに支援を行います」 【力強い地域経済の再生】 ・P33「活用し支援します」⇒「活用していきます」「雇用の創出に取り組みます」⇒「雇用の創出していきます」 ・P33「後押しするとともに」⇒削除「支援します」⇒「行います」 ・P34「取り組む事業者を支援します」⇒「取り組みます」「海外展開を支援します」⇒「海外展開を目指します」「事業展開の取組を支援します」⇒「事業展開に取り組みます」 ・P35「新たな魅力の創出に取り組みます」⇒「新たな魅力を創出します」「国の制度等の活用を後押し」⇒「国の制度等を活用し」「力強いPRに取り組みます」⇒力強くPRしていきます ・P36「新商品開発等に取り組む事業者への支援により」⇒「新商品開発等に事業者と共に取り組み」 ・P40「新たな仕事を創出できるように取り組みます」⇒「新たな仕事の創出を試みます」 【復興計画の推進】 ・P56「復旧・復興の取組を推進していきます」⇒「復旧・復興の取組を全市をあげて推進していきましょう」 【概要版】 ・「ICT機器等の環境整備・充実」⇒「災害時等も継続可能な学習環境の整備・充実」	ご意見を踏まえ全般的に整理見直し
		OP31 ・取組方針「環境整備の充実に取り組みます」⇒「環境整備の充実に取り組むと共に、災害等の非常時も学習の機会が奪われることのないよう仕組みづくりを行います」（理由）ICT機器等の整備だけでなくそれを使って何をするのか中身の検討も同時にしていく必要があると思います ・具体的な取組「環境整備の充実に取り組みます」⇒「環境整備の充実に取り組むと共に、災害時も継続可能な学習メニューの研究開発に着手します。」	ご意見を踏まえ文面見直し 第4章1(5)取組方針・①
		○第5章：未来につながるまちづくり カタカナ表記は読む人にとってわかりづらいものもあるため、その都度注記があるといいのではないのでしょうか。例えば、コンパクトシティ、DX、スーパーシティ制度、ショーケース化、ハブ、日本語表記にできるものはできるだけそうした方がいいと思います。	ご意見を踏まえ、分かりにくい文言について、P57に用語解説を入れさせていただきます。
19		OP22 第3章「復興に向けての3つの柱」 「市民と関係機関が協働・連携してコミュニティの再生を図ります」の一文があるが、更に具体性を持たせるために「民間団体等市民側の動きを行政として理解した上で、連携を行い、必要に応じて支援をする」といった書きぶりにし、より民間との連携について言及をするようにした方がよい	被災者のくらし再建やコミュニティを再生するためには、市民のみならず国や県、民間の支援団体、企業や大学等との連携協力は不可欠です。関係機関という文言に包含した記載としております。
		OP24 第4章「被災者のくらし再建とコミュニティの再生」 【現状と課題】コミュニティの再生について、行政と民間の連携で進めることが重要であることから、「コミュニティの再生は行政だけでは難しく、地域の団体やNPOと連携して中長期的に進めることが必要である」のような内容を入れた方がよい	
		OP26（2）住まいの再建・確保 相談窓口の設置について言及しているが、住宅再建は時間がかかるほど難しくなっていくことから、各被災者の支援を迅速に行うことが必要。「相談窓口の設置に留まらず、アウトリーチ型で迅速に個々の被災者に働きかける仕組みや体制を構築する」という一文を入れた方がよい	ご意見を踏まえ文面見直し 第4章1(2)③
		OP30（4）地域コミュニティの再生 「日常の支え合いが災害時に助け合う“共助”に繋がることから、コミュニティ活動を通して、災害前よりも自助、共助が一層醸成される地域コミュニティの再構築を支援します。」との一文があるが、従来の自治会で住民のみの自発的なコミュニティの再生は難しいことから、「従来の自治会のみでなく、地域団体やNPOなどの民間の動きと協働する、【新しい共助】を組み合わせる」のような一文がある方がよい	ご意見を踏まえ文面見直し・追加 第4章1(4)②
		OP32（1）商工業の再生・復興 過去の災害において、地域のインフラや工場設備などのハード面を復旧させるだけでは売り上げが戻っていない現状があることから、新たな商品開発や販路開拓を推進することが必須である。「取組方針」の中に「既存事業者の新たな取り組みを支援する」という内容を織り込んでどうか。例えば、飲食店がターゲットを変更するというような小さな取組でも良いので、市として「新たな販路開拓や商品開発を支援する」ということを入れた方がよい ※P.34の「競争力の強化」の部分で少し触れているのもあり、「取組方針」にも組み込んだ方がよい ※「（1）商工業の振興」はもう少し書き込みができないか	ご意見を踏まえ文面見直し 第4章2(1)取組方針・③

R3.1.18～25 第3回人吉市復興計画策定委員会における意見（書面審議）

【資料2】

		意 見	意見反映
復興計画素案に対するご意見	19	○P35（2）観光の再生・復興 「取組方針」に「地域活性化イベント支援など、事業者の意向に沿った多様な支援に取り組みます。」とあるが、「個々の事業者の取り組み支援を強化する」というように個社支援についてのニュアンスも入れた方が良い	第4章2(1)取組方針と③に記載 ※事業者支援であることから(1)商工業の再生・復興に整理し記載
		○P40（5）新たな産業や人材・雇用の創出 ③新産業・雇用創出を生み出す地域づくり ③に取り組むにあたり、中間支援的な機能が必要になることから、「新しい取り組みを推進するために地域内外をつなぐ、コーディネート機能を市の中で確保する」のような一文を入れた方が良い	ご意見を踏まえ文面見直し 第4章2(5)③
		○P50（3）地域全体で災害に備える体制づくり 共助を支える人づくり 発災時には行政のみでなく、NPOなどの地域の団体も活動を行うことから、行政と地域団体との平時からの「共助」体制構築についても言及した方が良い。「NPOなどの地域団体が災害時に迅速に活動できるように、平時からのサポートに取り組む」の一文が必要	ご意見を踏まえ文面見直し 第4章3(3)共助の仕組みづくり③
		○P51（3）地域全体で災害に備える体制づくり 防災意識の醸成 ②災害の記憶の伝承 「広く発信したい」と書いてあるが、何故発信したいのかを入れた方が良い。「熊本県内や九州における今後想定される新たな災害時に知見や教訓が活用されることを目指す」のような一文があった方が良い。	ご意見を踏まえ文面見直し 第4章3(3)防災意識の醸成②
		○P56 復興計画の推進 1. 協働による推進 協働による推進について書いてあるが、「外部（民間団体、NPOなど）との連携をはかることで協働による推進を行う」のように明示したほうが良い 『（例）愛媛県宇和島市の復興計画（以下、一部抜粋） 「4）中間支援組織の育成 変化していく被災者ニーズに効果的に対応していくために、継続的に被災者支援を行っている各団体組織をつなぐ仕組みづくりと体制維持が必要となっていることから、これまでつながりが希薄だった各セクター（住民・企業・NPO・行政等）をつなぐ民間主体の中間支援組織の育成に取り組み、地域の方にとってコミュニティとなる場の形成や住民の支え合いにつなげていきます。 ○ 中間支援組織（宇和島 NPO センター（仮称））の育成 ○ 各種団体の情報収集』	ご意見を踏まえ文面見直し 第6章1
		全体的に「市民・地域・行政等が丸となり」というニュアンスが入っておりますが、どの分野において行政が誰と連携、丸となって復興を推し進めていくかに具体性を持たせた方が良いのではないかと思います。 ①被災者のくらし再建とコミュニティの再生 社会福祉協議会や地域支え合いセンターのみが担うことではなく、被災者や地域の団体の声を聞くことが重要です。 ②力強い地域経済の再生 市が単体で行うものではなく、経済再生の方向性について、事業者が共感できるように、声を聞きながら決めることが必要です。 ③災害に負けないまちづくり 市が単体で行うものではなく、住民の防災や減災に対する意識向上も踏まえ自分事として捉え、関わるができる雰囲気をつくることが求められます。被災者支援、産業再生支援、防災・減災のどの面においても、人吉市丸となって取り組むことで成果が出て参ります。いずれも行政だけで行うのは不可能であり、どれだけ一般の方が参画できるかが重要です。現在の表現では「なんとなくみんなで頑張ろう」というように捉えられかねないため、「行政だけで取り組んでも成果を出すことは難しく、市民・地域・行政が丸となって復興に向け汗をかくことが重要」のようなニュアンスを入れた方が良いのではないかと思います。	ご意見にありますとおり、行政だけで復興できるものではなく、市民や行政、支援団体、企業や大学など様々な機関が連携協力しなければ成し得ません。関係機関という表現に包含しているものが多々ありますが、丸となり復興への機運を醸成する計画となるよう、ご意見を踏まえながら策定と取組を進めていきます。

		意 見	意見反映
その他ご意見	1	発災後、コロナ禍によりボランティア不足が言われましたが実際ボランティアに来られた方々のおかげで少しずつでも復旧ができたと思います。心より感謝いたします。	今後もボランティアをはじめとする様々な支援の力を借りながら復興を進めて行く必要がございます。
	2	国から今後10年間で1,000億円の河川対策が発表されましたが、それを含めて国、県、流域市町村が連携し、一体となった真剣な河川対策が実施される協力体制が整いつつあることを心強く感じ、早急な取り組みを期待しています。	本計画に基づき着実に取り組みを進めてまいります。
	3	中川原公園は増水したら沈下型にする。現状よりも低くする。球磨川と生きる以上、親水性のある中川原公園は欠かせない。しかし周囲の土砂を取り除くことは早急にやる。	今後検討する際に参考とさせていただきます。
	4	まちづくりや商工業者の支援、これまで以上の最大限の支援をお願いします	本計画に基づき着実に取り組みを進めてまいります。
	5	高速無料区間を人吉球磨スマートICまで延ばすことを国に掛け合うことはできないでしょうか？もともと渋滞が酷かった農免道路でしたので、復興関係の方々や地域住民に迷惑がかかっているように思えます。せっかく拡張して新しくなった路面もさっそく劣化が始まっているように見えます。渋滞拡散と路面保護のためにお願いすることは可能でしょうか？農免道路など市内の交通量を減らすことにより路面補修に使うお金が減り、その分を復興に回せるのではと思いました。	今後検討させていただきます。
	6	災害後は、高補助率の復興事業が短期間に行われます。この事業を地元が主導権をにぎり、いかにコントロールするかで、ピンチがチャンスになります。そのためには、街並みの整備方針等の包括するコンセプトを明確にして、全ての事業をこのコンセプトに沿った形でアレンジする必要があります。コンセプトの議論とその具体化に向けたシステムの構築をお願いします。また、人吉・球磨のリーダーとしての振る舞い、役割を意識した展開をお願いします。	今後の復興に向けた取組の参考とさせていただきます。また、人吉球磨や流域市町村と連携し取組を進めてまいります。
	7	農地が被災して今後農業から離れる方もいると聞いています。耕作放棄地がさらに増えることを想定し、新規就農や様々な規制の緩和も必要と思われます。	第4章2(3)に記載しています。